

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2005-63811(P2005-63811A)
 【公開日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-010
 【出願番号】特願 2003-292408(P2003-292408)
 【国際特許分類】

H 0 1 J 31/12 (2006.01)

H 0 1 J 29/87 (2006.01)

【F I】

H 0 1 J 31/12 C

H 0 1 J 29/87

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

電子放出素子を有する電子源が形成された第 1 の基板と、前記電子源より放出される電子が照射される被照射体が形成された第 2 の基板とをスペーサを介して対向させ、前記第 1 及び第 2 の基板間に加速電圧を印加して、前記電子源より放出される電子を前記被照射体に照射させる画像形成装置において、

前記スペーサは、絶縁性基体と該絶縁性基体の表面の少なくとも一部を被覆した高抵抗膜からなり、

前記加速電圧における前記高抵抗膜の電子進入深さを λ 、前記高抵抗膜の膜厚を d 、 α を 0.5 以上且つ 1 以下の定数とし、

前記絶縁性基体表面から $(d - \alpha \lambda)$ の厚さまでの前記高抵抗膜のシート抵抗 R_{s1} ($\Omega/\square$) と、膜表面から $\alpha \lambda$ の厚さまでの前記高抵抗膜のシート抵抗 R_{s2} ($\Omega/\square$) とは以下の関係を満たすことを特徴とする画像形成装置。

$$\frac{2}{10^7} \frac{R_{s2}}{R_{s1}} \frac{100}{10^{14}}$$

【請求項 2】

前記 α が、 1 であることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記シート抵抗 R_{s1} と前記シート抵抗 R_{s2} が

$$10 \frac{R_{s2}}{R_{s1}} \frac{100}{10^7}$$

であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記絶縁性基板表面から $(d - \alpha \lambda)$ の厚さまでの前記高抵抗膜の抵抗温度係数が、 3% 以下であることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記加速電圧の範囲が 4 kV から 30 kV である請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記高抵抗膜は、少なくとも第 1 層と、該第 1 層と接し且つ表面層となる、該第 1 層よ

りも高抵抗の第 2 層と、を有する請求項 1 記載の画像形成装置。